

(2017/9/1版)

第11回MUレーダー・赤道大気レーダーシンポジウム 第347回生存圏シンポジウム

日時：平成29年9月7日(木) 14:00~17:50 (懇親会 18:00~19:30)

8日(金) 10:00~16:00

場所：京都大学 宇治キャンパス 宇治総合研究実験1号棟5階セミナー室 HW525

主催：京都大学生存圏研究所

Web: <http://www.rish.kyoto-u.ac.jp/ear/sympo.html>

プログラム

講演15分 + 質疑5分 (1鈴12分, 2鈴15分, 3鈴20分)

9月7日

(座長: 橋口浩之)

14:00 - 14:10 あいさつ

MUレーダー/赤道大気レーダー全国国際共同利用専門委員長 山本衛

14:10 - 14:30 ジャカルタ拡大首都圏における雷雨特性 –JALS2015観測結果短報–

森修一・伍培明(JAMSTEC)・濱田純一(首都大/JAMSTEC)・Ardhi A. Arbain(東大AORI/BPPT, Indonesia)・Sopia Lestari(メルボルン大/BPPT, Indonesia)・Reni Sulistyowati・Fadli Syamsudin(BPPT, Indonesia)

14:30 - 14:50 全球水循環における熱帯沿岸降水による脱水作用

荻野慎也・山中大学・森修一(JAMSTEC)・松本淳(JAMSTEC・首都大)

14:50 - 15:10 熱帯泥炭地社会へのレーダー気象学応用に関する展望

山中大学(JAMSTEC)・甲山治(京大CSEAS)・大石哲(神大RCUSS)・水野広祐(地球研・京大CSEAS)

15:10 - 15:30 赤道ライダーにより観測されたケルト火山起源成層圏エアロゾルの鉛直輸送とEAR鉛直風の比較

阿保真・柴田泰邦・長澤親生(首都大)

15:30 - 15:50 小型無人航空機とMUレーダーで観測された乱流エネルギー消散率の比較

橋口浩之(京大RISH)・Hubert Luce (Toulon大, 仏)・Lakshmi Kantha・Dale Lawrence(Colorado大, 米)・Richard Wilson (LATMOS, 仏)・津田敏隆・矢吹正教(京大RISH)

15:50 - 16:10

=== 休憩 ===

(座長: 荻野慎也)

16:10 - 16:30 MUレーダー実時間アダプティブクラッター抑圧システムの開発

久保田匡亮・橋口浩之・山本衛・万城孝弘(京大RISH)

16:30 - 16:50 MUレーダーを用いたスペースデブリ形状・軌道推定に関する研究

池田成臣・鳥居拓哉・平田拓仁・山川宏(京大RISH)

16:50 - 17:10 Development of Software-Defined Multi-Channel Receiver System for the Equatorial Atmosphere Radar (EAR)

Nor Azlan Bin Mohd Aris・Hiroyuki Hashiguchi・Mamoru Yamamoto(京大RISH)

17:10 - 17:30 EMU計画の現状について

山本衛(京大RISH)・津田敏隆(京大RISH/ROIS)・橋口浩之(京大RISH)

17:30 - 17:50 気象学と超高層物理学の研究協力はどうすべきか

加藤進

18:00 - 19:30

=== 懇親会 (プログラム末尾をご覧ください) ===

9月8日

(座長: 下舞豊志)

- 10:00 - 10:20 赤道域Ku帯衛星回線の降雨減衰特性の年変動について
前川泰之・西村優・柴垣佳明(大阪電通大)
- 10:20 - 10:40 MRR観測に基づくブライドバンドの等価レーダ反射因子と雨滴の落下速度
米江泰貴・下舞豊志(島根大)
- 10:40 - 11:00 ELF-VLF帯電界計測網に基づいた関東圏における雷活動の電気的特性の評価
山下幸三(足利工大)・高橋幸弘(北大)
- 11:00 - 11:20 第IX期南極重点研究観測AJ0901「南極大気精密観測から探る全球大気システム」の概要
佐藤薫(東大院理)・堤雅基(極地研)・佐藤亨(京大院情報)・中村卓司(極地研)・齊藤昭則(京大院理)・富川喜弘(極地研)・西村耕司(極地研)・高麗正史(東大院理)・橋本大志(京大院情報)
- 11:20 - 11:40 航空機監視レーダ(SSRモードS)から得られる気象観測情報の特性評価について
吉原貴之・瀬之口敦・毛塚敦・齋藤享・古賀禎(ENRI)・古本淳一(京大RISH)

11:40 - 13:00 === 昼食 ===

(座長: 横山竜宏)

- 13:00 - 13:20 GEONETに基づく3次元電離圏トモグラフィの現状
水野遼・山本衛(京大RISH)・齊藤享(電離航法研)・齊藤昭則(京大理)
- 13:20 - 13:40 リアルタイム電離圏トモグラフィのMUレーダー非干渉散乱観測による検証
齋藤享(電子航法研)・山本衛(京大RISH)・齊藤昭則(京大理)
- 13:40 - 14:00 衛星地上ビーコン観測による電離圏全電子数の自動解析手法の開発
坂本悠記・山本衛(京大RISH)・Kornyanat Hozumi (NICT)
- 14:00 - 14:20 Study of travelling ionospheric disturbances in the European and Japanese longitudinal sectors with Kharkiv incoherent scatter and MU radars
Sergii Panasenko (Institute of Ionosphere, 名大ISEE)・Yuichi Otsuka (名大ISEE)・Mamoru Yamamoto (京大RISH)・Igor F. Domnin (Institute of Ionosphere)

14:20 - 14:40 === 休憩 ===

(座長: 大塚雄一)

- 14:40 - 15:00 観測ロケットS-520-27号機による電場観測データの再解析
西田圭吾・山本衛(京大RISH)・石坂圭吾(富山県立大)・田中真(東海大)
- 15:00 - 15:20 Local HF radio propagation simulator
Hozumi Kornyanat(NICT)
- 15:20 - 15:40 新しい衛星＝地上ビーコン観測用の4周波デジタル受信機の開発状況
山本衛(京大RISH)
- 15:40 - 16:00 数値シミュレーションと赤道大気レーダー観測によるプラズマバブル上昇速度の推定
横山竜宏(NICT)・S. Tulasi Ram(IIG, India)・K. K. Ajith(IIG, India)・山本衛(京大RISH)・K. Niranjan(Andhra Univ., India)

お願い

(1) 懇親会について

参加費： 一般： 4,000円、学生： 2,000円（予定）
会場： 京都大学宇治キャンパス生協2階「ピアチ」
申込み： 当日、受付にて出欠をお知らせ下さい

(2) 発表について

講演会場にはPCプロジェクタ1台を用意します。ご自身でノートPCを接続して下さい。それ以外が必要な場合には、事前に橋口 (hasiguti@rish.kyoto-u.ac.jp) まで御連絡下さい。

(3) プロシーディングについて

プロシーディングを作成いたします。発表いただいた方々には、下記要領にて原稿を作成・ご送付いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。
発表で使われたPowerPointファイルをお送り頂いても結構です。縮小して印刷いたします。

用紙： A4縦

ページ数： 2～6ページ

原稿締切： 2017年9月8日（金）（シンポジウム2日目）

送付方法： WordまたはPowerPointファイルを電子メールにてお送り下さい

あて先： 電子メール： ear-sympo@rish.kyoto-u.ac.jp

郵送の場合は下記宛に送付

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

京都大学生存圏研究所 橋口浩之

電話 0774-38-3819

備考： 白黒印刷で作成します。PDFファイルをホームページに掲載します。